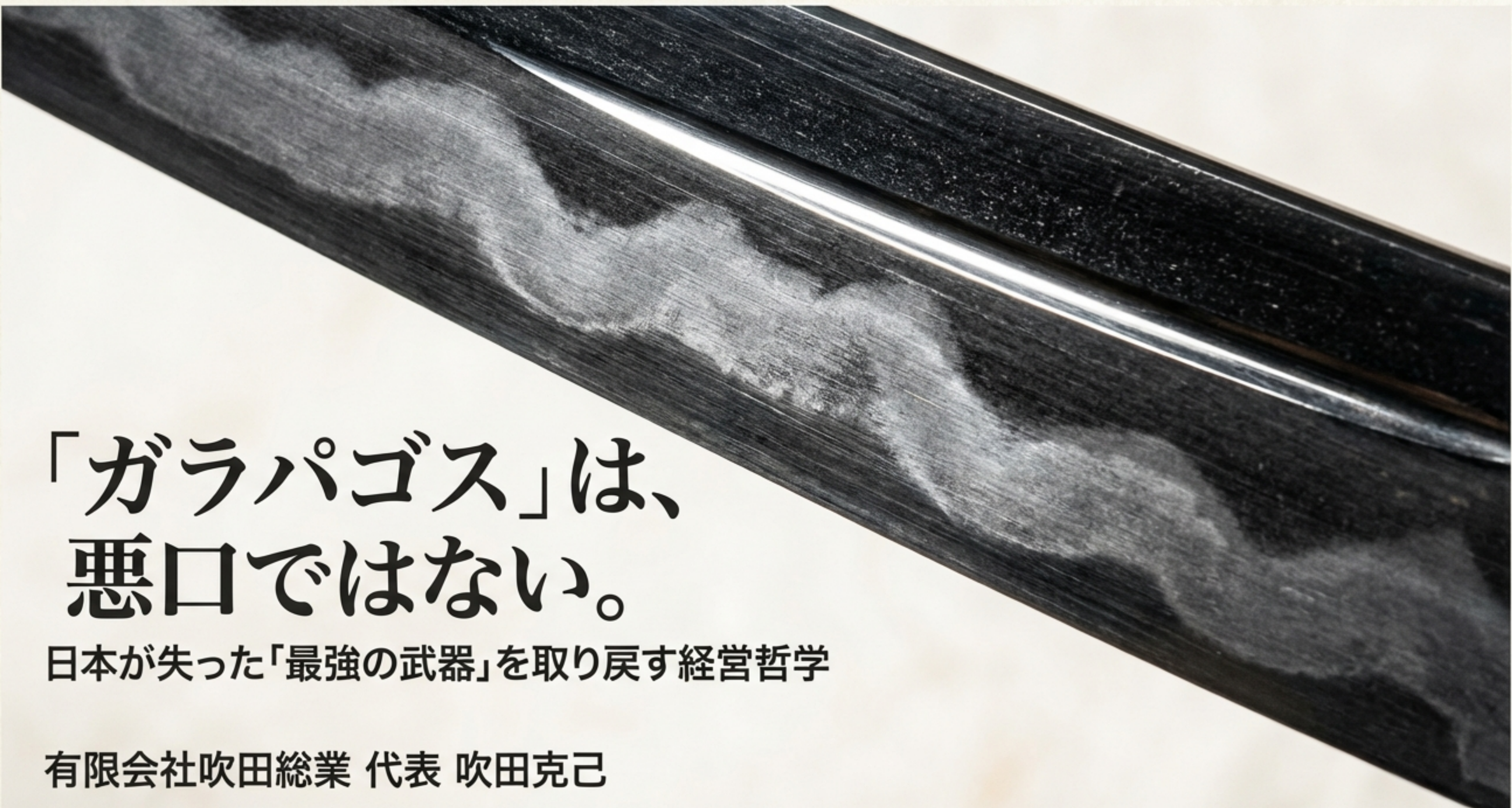




「ガラパゴス」は、 悪口ではない。

日本が失った「最強の武器」を取り戻す経営哲学

有限会社吹田総業 代表 吹田克己

「日本はガラパゴス化したから負けた」

この言葉を、あなたも一度は聞いたことがあるはずだ。



それは、間違いだ。

最強のガラパゴス、セブン-イレブン。

米国生まれのコンビニを「魔改造」

パリパリの海苔を守る複雑なフィルム

鮮度のための1日3回配送

米国本社が「狂気だ」と笑ったこだわり。



ガラパゴスが、グローバルを食った瞬間。



我々の武器は「丸さ」ではなく「尖り」だった。



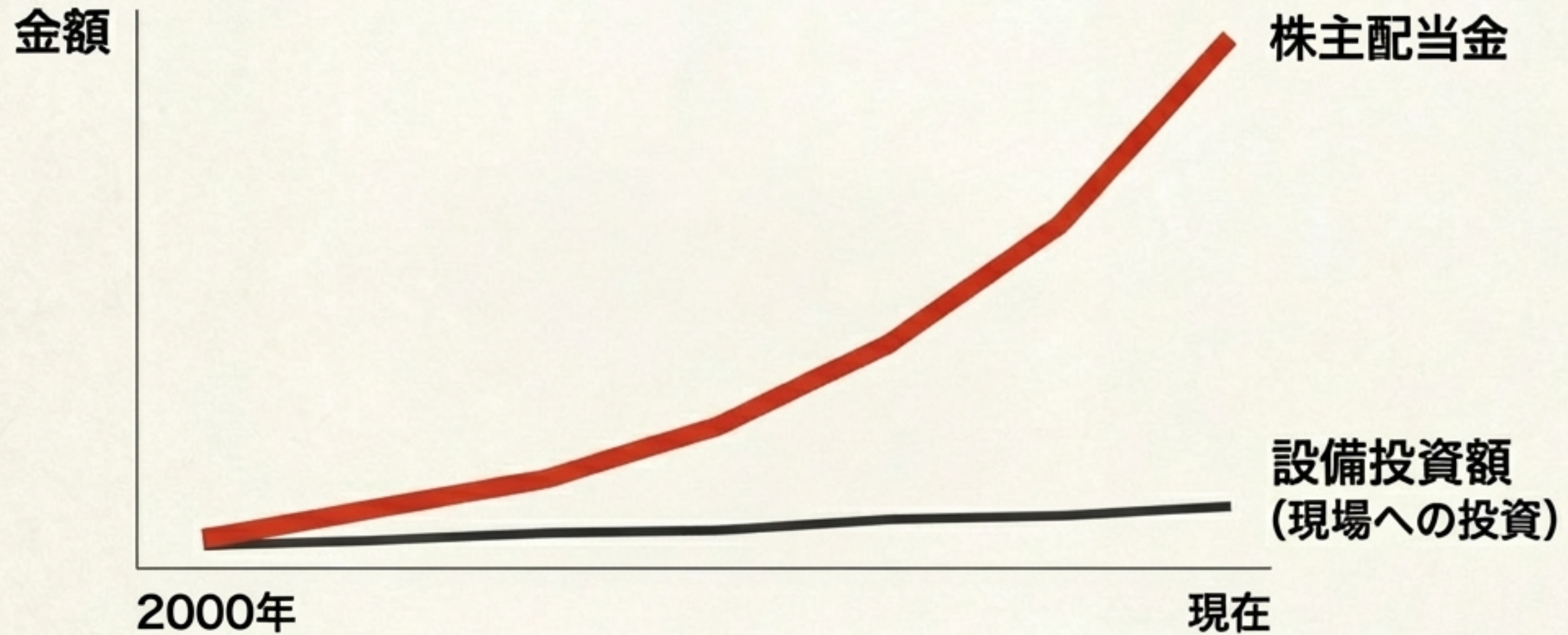
iモードも、FeliCaも。
世界標準に合わせたのではない。
日本の顧客だけを見つめ、
恐ろしいほど「尖っていた」から
世界は嫉妬した。



では、なぜ日本は
弱くなったのか？

見ている場所が、
変わってしまったからだ。

顧客ではなく、株主を見始めた日本企業。



「グローバル標準」という名の「株主資本主義」

誰のために、商売をしているのか？



我々、中小企業が生き残る唯一の道。





**グローバルを気にするな。
ガラパゴスを突き詰めろ。**

**独自のこだわりを
徹底的に突き詰め
「やりすぎだ」と
笑われるまで尖らせる**



データはAI、決断は社長。

この話には、まだ続きがある。

今日お話ししたのは、ほんの入り口です。
現場で培った、よりディープな経営ノウハウのすべてを公開しています。



続きは、オフィシャルホームページで。



<http://fkt-office.com/>



吹田克己の経営哲学の真髄に触れてください。今すぐアクセス。

Note『社長の着想日誌』も公開中

ご清聴ありがとうございました。

有限会社 吹田総業

代表 吹田 克己

